

# CENTURION

| 女神のつぶやき | もうひとつのシャンパーニュ |  
| 革新が進むコニャックの世界 | 地上の楽園、驚異の鳥 |

SPRING 2020



ンするマリブホテル ([riviera.co.jp/malibuhotel/](http://riviera.co.jp/malibuhotel/)) にも、エリアの特性を活かした多彩なアクティビティが用意されている。“スモールラグジュアリー”をコンセプトにした4階建ての同ホテルの客室数は11。全室が海を望む富士山ビューのスイート。インテリア監修を手がけたのは、ロサンゼルスインテリアデザイナートップ20に選ばれるアレキサンダーデザイン。専用のアプローチやガーデンテラスを備えたプライベート ヴィラでは、愛犬とのステイも可能だ。

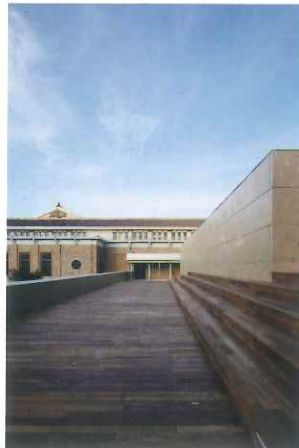
リビエラ逗子マリーナから出航する大型カタマランヨットのセーリングや、船上でのサンセット観賞など、海のアクティビティはもちろん、たとえばわずか半年に1日だけダイヤモンド富士が現れる日に、最も眺めのいい場所にセットされたテーブルで愉しむディナーなどの特別なプランも。また、同ホテルと同時にリビエラ逗子マリーナ内にオープンするレストラン、マリブファームの料理をルームサービスで味わえるのもうれしいかぎり。フレッシュ、オーガニック、ローカルをコンセプトに厳選された素材を生かした料理で、ロサンゼルスで絶大な人気を誇る同レストランは日本初上陸となる。

訪れたことのある土地であっても、まだ見ぬ風景や心躍る体験は、まだまだある。これらのホテルは、そんな新たな出会いをもたらしてくれるにちがいない。

左上から時計回りに：マリブホテルと同時にリビエラ逗子マリーナ内にオープンするマリブファームの料理。現地（ロサンゼルス）のレシピを軸に、地元湘南の野菜や相模湾の魚介類を使用した日本限定メニューも。写真は現地で人気のブラータチーズとフルーツのサラダ；51㎡のバルコニーを併設する93㎡のザ マリブ スイート；プライベートクルージングやフィッシング、プライベートヨガなど、ホテルを拠点とした多彩なアクティビティを愉しめる。

## 大規模改修で生まれ変わった 伝統と革新の歴史的美術館

1933年創建の歴史ある京都市美術館が、大規模改修を経て、京都市京セラ美術館として2020年3月21日（土）にリニューアルオープン。洋風建築に和風の屋根をかぶせた和洋折衷のいわゆる帝冠様式の外観など、歴史的なデザインを残しながら、設備機能を含めた内部空間を大幅にアップデート。館長にはリニューアルの設計を手がけた建築家・青木淳が就任。現代美術を中心に紹介する新館 東山キューブや、気鋭の作家を中心に発信するザ・トライアングル、収蔵品を展示するコレクションルームなどの展示スペースを新設。現代美術を中心に多ジャンルの作品を紹介する展示空間となった。こけら落としには、本館にて「京都の美術 250年の夢」が、新館では現代美術家・杉本博司による個展「杉本博司 瑠璃の浄土」が開催。これまで以上に多彩な日本の美を世界に発信する。 [kyotocity-kyocera.museum](http://kyotocity-kyocera.museum)



左：京都市京セラ美術館の新館 東山キューブ屋上デッキ。写真奥に見えるのは本館。撮影◎来田猛；上：開館記念展「京都の美術 250年の夢」は、江戸から明治、さらに現代まで約250年間の京都の名品を集め、4期にわたりかつてない規模で総覧する。本作中村大三郎《ピアノ》（1926年同館蔵）は2020年3月21日（土）～4月5日（日）に展示。